

愛知医科大学病院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	透析患者に対するダプトマイシン（DAP）およびバンコマイシン（VCM）の臨床的有効性に関する後方視的検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	臨床感染症学講座
研究責任者	臨床感染症学講座 教授 三鴨廣繁
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	透析患者さんに投与された DAP（高用量投与、標準量投与）または VCM による治療効果の向上と安全性を評価します。
対象となる患者さん	2014 年 6 月から 2019 年 10 月までに DAP または VCM を使用した透析患者さん
研究の方法	調査期間中に、DAP または VCM が投与された患者さんの症状（臨床学的有効性）、検出された菌に対する効果（微生物学的有効性）および副作用（有害事象）の有無を調査します。さらに、DAP が投与された患者さんを高用量投与（負荷投与）の有無に分け、有効性および副作用（有害事象）の状況を VCM と比較するとともに、その負荷投与の有効性を明らかにします。また、臨床情報などの収集はカルテを利用させていただきます。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2022 年 5 月 31 日
研究に用いる試料・情報	資料：なし 情報：炎症所見（体温、白血球数、C 反応性タンパク）を示すデータ等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、資料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学 感染症科 担当者：客員教授 山岸由佳

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 34523)